

研修プログラム(臨床工学科)

氏名 _____
 入職日 _____
 評価者 _____

達成したら□にチェックする

項目		レベル I	マニュアル習得	研修受講	自己評価	他者評価
部署 目標		臨床工学技士としての病院内の役割を認識する。 血液浄化業務の基礎を理解し、行うことができる。				
技術的	血液浄化一連の開始から終了までが行える	☐ 清潔・不潔操作が行える				
		☐ 人工透析室の機器立ち上げ準備				
		☐ 人工透析装置のセッティング、プライミング				
		☐ ブラッドアクセスへの穿刺及び接続				
		☐ ブラッドアクセスからの離脱(緊急時含)				
		☐ エコー下穿刺が出来る				
		☐ エコーでシャントフロー測定が出来る				
		☐ 血液浄化装置のトラブル対応(継続か否か)				
		☐				
		☐				
管理的	透析装置での集中管理と疾患の把握	☐ 人工腎臓の機能知識				
		☐ 使用物品のコストを理解する				
		☐ 透析管理システム(FNW)の操作				
		☐				
研修	院内研修	☐ 院内研修会への参加(全職員共通プログラム)				
		☐				
	院外研修	☐				
		☐				

研修プログラム(臨床工学科)

氏名 _____
 入職日 _____
 評価者 _____

達成したら□にチェックする

項目		レベルⅡ	マニュアル習得	研修受講	自己評価	他者評価
部署 目標		アフエーシス業務が出来る				
		院内医療機器の把握をし、指導者と共にトラブル対応ができる				
技術的	特殊血液浄化方法と基本的医療機器の点検が出来る	☐ 特殊血液浄化への対応				
		☐ CHDF CHF CHD PEX G-CAPが出来る				
		☐ CARTが出来る				
		☐ 人工呼吸器動作中が点検できる				
		☐ 人工呼吸器使用後点検できる				
		☐ 保育器使用後点検が出来る				
		☐ 生体情報モニタートラブル対応が出来る				
		☐ 輸液ポンプ点検できる				
		☐ シリンジポンプ点検できる				
		☐ 医療機器管理システム(マリス)の操作				
管理的	特殊血液浄化適応疾患の把握	☐ 各疾病に対しての、検査データの把握				
		☐ 血液ガス、心電図など各生体情報の意味				
		☐ 医療機器使用法について説明できる				
		☐ 適切な治療モードの選択				
		☐ 体外循環中の血行動態の認識				
		☐				
研修	院内研修	☐ 医療機器メーカーによる機器使用方法の説明会参加				
		☐ 院内医療機器研修会の講師となって実施できる				
		☐ 院内研修会への参加(全職員共通プログラム)				
	院外研修	☐ 透析装置のメンテナンス講習の参加				
		☐ 輸液・シリンジポンプメンテナンス講習参加				
		☐ 関連学会への参加・発表				

研修プログラム(臨床工学科)

氏名 _____
 入職日 _____
 評価者 _____

達成したら□にチェックする

項目		レベルⅢ	マニュアル習得	研修受講	自己評価	他者評価
部署目標		中央管理されている医療機器のメンテナンスが出来る				
技術的	各種医療機器のトラブル対応とメンテナンスを実施できる	☐ 透析患者監視装置のメンテナンスが出来る				
		☐ 人工呼吸器プリベンティブメンテナンスできる				
		☐ 保育器のメンテナンスが出来る				
		☐ 麻酔器の点検が出来る				
		☐ 麻酔器のメンテナンスが出来る				
		☐ 生体情報モニターメンテナンスが出来る				
管理的	様々な環境でのリスクを理解する	☐ 正常動作の理解				
		☐ 薬剤における医療機器への影響				
		☐ 経年劣化による、安全性低下のリスク認識薬剤における医療機器への影響				
		☐ 各医療機器と付随して使用する周辺機器との関連性				
		☐				
研修	院内研修	☐ 院内研修会への参加(全職員共通プログラム)				
		☐				
	院外研修	☐ 透析装置のメンテナンス講習の参加				
		☐ 医療機器のメンテナンス講習の参加				
		☐				

研修プログラム(臨床工学科)

氏名 _____
 入職日 _____
 評価者 _____

達成したら□にチェックする

項目		レベルⅣ	マニュアル習得	研修受講	自己評価	他者評価
部署 目標		循環器業務が実施できる(ペースメーカー)				
技術的	機器の操作・管理の実施。術者の介助	□一時ペーシング対応が出来る				
		□永久的ペースメーカー植え込み				
		□遠隔ペースメーカーチェックが出来る				
		□対面ペースメーカーチェックが出来る				
		□緊急対応ができる				
		□				
管理的	循環器の解剖と知識を習得	□正常動作の理解				
		□適切な治療モードの選択				
		□心電図など各生体情報の意味				
		□				
		□				
研修	院内研修	□院内研修会への参加(全職員共通プログラム)				
		□				
	院外研修	□関連学会の研修会への参加				
		□関連学会の認定所得				
		□他施設への業務研修				

研修プログラム(臨床工学科)

氏名 _____
 入職日 _____
 評価者 _____

達成したら□にチェックする

項目		レベル V	マニュアル習得	研修受講	自己評価	他者評価
部署 目標		循環器業務が実施できる(心カテ)				
技術的	機器の操作・管理の実施。術者の介助	☐ 心カテ業務(CAG)ができる				
		☐ 心カテ業務(PCI)ができる				
		☐ IABP(大動脈内バルーンポンピング)				
		☐ PCPS(経皮的心肺補助)				
		☐ 各治療デバイスの操作				
		☐ 緊急対応ができる				
管理的	循環器の解剖と知識を習得	☐ 正常動作の理解				
		☐ 適切な治療モードの選択				
		☐ 血液検査など生体情報から、適切な治療法を医師との連携				
		☐ 治療デバイスの性状、種類について				
		☐ 心エコーが読める				
研修	院内研修	☐ メーカーによる新デバイスの使用方法の説明会参加				
		☐ 院内研修会への参加(全職員共通プログラム)				
	院外研修	☐ 関連学会の研修会への参加				
		☐ 関連学会の認定所得				
		☐ 他施設への業務研修				